

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
5GHz 帯無線 LAN 作業班(第1回) 議事録(案)

- 1 日時
平成 27 年 12 月 11 日(金) 15:00~16:20
- 2 場所
中央合同庁舎第2号館 総務省8階 第4特別会議室
- 3 出席者(敬称略)
主 任:梅比良 正弘
構 成 員:足立 朋子、有賀 寿、伊藤 泰成、大本 隆太郎、金子 富、
河野 隆宏、小山 祐一、齋藤 一、城田 雅一、津田 喜秋、
成瀬 廣高、野島 友幸、羽田 利博、平川 洋、蛭川 明則、
古川 憲志、北條 博史、村上 誉、八木 義男、山内 洋
オブザーバー:難波 敏男、濱崎 隆志
事務局(総務省):寺沢課長、臼井課長補佐、黒田マイクロ通信係長、中山主査、酒井官
- 4 配布資料
資料 1-1 作業班の運営方針(案)
資料 1-2 5GHz 帯無線 LAN の周波数拡張に係る技術的条件の検討開始
資料 1-3 5GHz 帯無線 LAN における国際動向
資料 1-4 5GHz 帯無線 LAN における国内動向
資料 1-5 5GHz 帯におけるレーダーの概要
資料 1-6 5GHz 帯における地球探査衛星の概要
参考資料 5GHz 帯無線 LAN 作業班構成員
- 5 議事
 - (1) 作業班の運営方針について
事務局から資料 1-1 に基づき説明が行われ、案のとおり了承された。
 - (2) 5GHz 帯無線 LAN の周波数拡張に係る技術的条件の検討開始について
事務局及び NTT アドバンステクノロジー(株)から資料 1-1 に基づき説明を行った。
 - (3) 5GHz 帯無線 LAN における国際動向
クアルコムジャパン(株)から資料 1-3 に基づき説明が行われた。なお、具体的な質疑等は以下のとおり。

梅比良主任 : 技術ニュートラルで色々な新しいデバイスがあるとの話があったが、それは無線 LAN 以外の別の利用区分が具体的に特定されているということか。
城田構成員 : 一番大きな話だと Licensed Assisted Access、そういうものを一緒に運用したいとの話がある。
梅比良主任 : ETSI Harmonized Standard のグループではかなり細かいことを決めようという議

論があるようだが、仕様に近い話までされているのか。

城田構成員 : 仕様に近いのだが、どういうルールになるかはまだ分からない。全て包含できるようにしていこうということ。

梅比良主任 : 了。

北條構成員 : 欧州の議論と IEEE802.11 の議論は連携して進んでいるのか。

城田構成員 : 団体として連携しているかということだが、それは把握していない。ただ、その動きを知っている人達に則って、それを前提にこの場で話をしている。そういう意味では間接的に連携して議論されていると考えられる。

(4) 5GHz 帯無線 LAN における国内動向について

(株)バッファローから資料 1-4 に基づき説明が行われた。

(5) 5GHz 帯におけるレーダーの概要について

(株)東芝から資料 1-5 に基づき説明が行われた。なお、具体的な質疑等は以下のとおり。

梅比良主任 : 気象レーダーは 24 時間ずっと電波を出し続けているものなのか。

オブザーバー
難波氏 : ほとんど 24 時間電波を出している。

梅比良主任 : 基本的には上を向いて電波を出しているのか。仰角はどのくらいか。

オブザーバー
難波氏 : 仰角は 0 度から出しており、雨が地上に落ちてくる部分も見ている。

梅比良主任 : 了。

(6) 5GHz 帯における地球探査衛星の概要について

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構から資料 1-6 に基づき説明が行われた。なお、具体的な質疑等は以下のとおり。

城田構成員 : ETSI での検討の中で EESS というのは実際上空にある時間が非常に短く、かつ、電波を発射している時間もかなり短いということが示されており、その率が出ている。地球規模で観測しているとのことなので、そこで出てくるデータというのは日本の上空の場合も同じか。

河野構成員 : 全世界で同じようなパラメータになる。

梅比良主任 : 衛星はかなりのスピードで回っているかと思うが、1周当たりどのくらいの時間か。

河野構成員 : 1周当たり1時間半であり、同じところに戻ってくるのは2週間程度である。

(7) 今後のスケジュールについて

事務局から、今後の当作業班の開催についてはアドホックグループでの検討状況を考慮して開催していく旨、説明が行われた。

(閉会)